

平成30年（2018年）10月那覇市・南風原町  
環境施設組合議会 定例会

（午前10時05分 開会）

○議長（栗國彰）

ただいまから平成30年（2018年）10月那覇市・南風原町環境施設組合議会定例会を開会いたします。

○議長（栗國彰）

これより本日の会議を開きます。

会期日程及び議事録の日程は、本日、お手元に配付したとおりであります。

諸般の報告をいたします。

平成30年9月9日において、南風原町議会議員選挙が行われ、南風原町より本組合議会に3名の議員が選出されておりますので、お名前を読み上げて報告いたします。

岡崎晋議員、大城勇太議員、赤嶺奈津江議員、以上3名の皆様でございます。

これで諸般の報告を終わります。

○議長（栗國彰）

日程第1、議席の指定を行います。

今回当選されました南風原町の議員の議席は、会議規則第4条第2項の規定により、議長においてただいまご着席の議席のとおり指定いたします。

○議長（栗國彰）

日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第70条の規定により、議長において我如古一郎議員と、岡崎晋議員を指名いたします。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

○議長（栗國彰）

日程第3、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、お手元に配付した会期日程のとおり本日、10月30日の1日間にいたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（栗國彰）

ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日10月30日の1日間に決定いたしました。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

日程第4、副議長選挙を行います。

お諮りいたします。

選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定に基づき、指名推選により行いたいと思います。

これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（栗國彰）

ご異議なしと認めます。

よって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定されました。

○議長（栗國彰）

どなたか推選する方はいませんか。

大城勇太議員。

○8番（大城勇太）

私は赤嶺奈津江議員が副議長として適任ではないかと思っておりますので、赤嶺奈津江議員を副議長に推薦いたします。よろしくお願いいたします。

○議長（栗國彰）

お諮りいたします。

ただいま大城勇太議員から指名推選のありました赤嶺奈津江議員を、那覇市・南風原町環境施設組合議会副議長の当選人と定めることにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

○議長(栗國彰)

ご異議なしと認めます。

したがって、赤嶺奈津江議員が副議長に当選されました。

ただいま当選されました赤嶺奈津江議員が議場におられますので、本席から副議長の当選人であることを告知いたします。

では、赤嶺奈津江議員、就任のご挨拶を自席においてお願いしたいと思います。

○9番(赤嶺奈津江)

ハイタイ。皆様、おはようございます。

ただいま副議長に指名推選をいただきました、南風原町議会議員、赤嶺奈津江でございます。私は1期目から当組合の議員をしております、今期、南風原町で当選いたしました3期目のスタートとなっております。当組合が、安全また良好な運営ができるよう、また皆様と環境問題に真摯に取り組む、地域の皆様から信頼される運営ができるように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長(栗國彰)

お疲れさまでした。ありがとうございます。

~~~~~

○議長(栗國彰)

日程第5、議案第3号、那覇市・南風原町環境施設組合監査委員の選任について議題といたします。

なお、本件の審議にあたりましては、地

方自治法第117条の規定により、大城勇太議員の除斥が必要でありますので、退席を求めます。

休憩いたします。

再開いたします。

提案者の説明を求めます。

比嘉総務企画課長。

○総務企画課長(比嘉勝治)

では、議案第3号、那覇市・南風原町環境施設組合監査委員の選任について。

那覇市・南風原町環境施設組合規約第13条第2項の規定に基づき、下記の者を組合議員の議員の中から選任する。監査委員に選任したいので、同意を求める。

住所、南風原町字津嘉山1282番地1、KGマンション3-E。大城勇太。

提案理由といたしまして、ご説明申し上げます。平成30年9月27日付で、前監査委員の大城勝議員の任期満了に伴い、その後任について、慎重に人選を進めてまいりましたところ、大城勇太議員が監査委員として適任であると思慮いたしますので、那覇市・南風原町環境施設組合規約第13条第2項の規定に基づき、議会の同意を得るため、この案を提出します。よろしくご審議のほどをお願いいたします。

○議長(栗國彰)

これより質疑に入りますが、通告書に基づく質疑はございませんか。

(「なし」と言う者あり)

○議長(栗國彰)

これにて質疑を終結いたします。

○議長(栗國彰)

これより討論に入ります。

討論はございませんか。

(「なし」と言う者あり)

○議長(栗國彰)

これにて討論を終結いたします。

○議長(栗國彰)

これより採決を行います。

議案第3号、那覇市・南風原町環境施設組合監査委員の選任については、同意することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

○議長(栗國彰)

ご異議なしと認めます。

よって、本案は同意することに決しました。

○議長(栗國彰)

本件の除斥を解除致します。

休憩いたします。

再開いたします。

ただいま監査委員に選任されました大城勇太議員より、選任のご挨拶を自席にてお願いいたします。

○8番(大城勇太)

皆さん、こんにちは。

那覇市・南風原町環境施設組合監査委員として選任されました、南風原町議会議員の大城勇太と申します。新人議員ではありますが、一生懸命任期を全うしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

~~~~~

○議長(栗國彰)

日程第6、認定第1号、平成29年度那覇市・南風原町環境施設組合一般会計歳入歳出決算を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

比嘉総務企画課長。

○総務企画課長(比嘉勝治)

資料のほうは、決算書が別紙でつづられております。提案書の理由が2ページにございます。お目通しをお願いします。

では、ご説明申し上げます。

平成29年度那覇市・南風原町環境施設組合一般会計歳入歳出決算についてです。

認定第1号、平成29年度那覇市・南風原町環境施設組合一般会計歳入歳出決算について、決算書と提案理由書を使って概要をご説明申し上げます。

決算書をごらんいただきたいと思います。では、歳入決算について説明いたします。決算書1ページです。提案理由書は2ページになりますので、お願いします。

決算書1ページ、下段の歳入合計の欄をごらんください。予算現額52億7,093万982円に対し、収入済額は51億8,994万9,912円で予算現額に対する収入率が98.5%となっております。歳入における収入未済額はございません。

収入済額は、前年度決算額と比較しまして10億7,115万7,202円の増額で、伸び率としては26%であります。主な要因といたしましては、基幹的設備改造事業に伴う第3款国庫支出金5億3,632万7,672円及び第8款組合債4億9,890万円の増が主な要因であります。

事項別明細については、第3款国庫支出金が4ページ、8款組合債が6ページにございますので、お目通しをお願いしたいと思います。

続きまして、歳出決算についてです。2ページになります。

下段の歳出合計の欄をごらんください。予算現額52億7,093万982円に対して、支出済額50億4,001万2,841円で、予算現額に対する執行率が95.6%となっております。

支出済額は、前年度決算額と比較しまして11億5,334万6,059円の増額であります。伸び率は29.7%であります。増額の主な要因といたしましては、第3款衛生費1項清

掃費 2 目塵芥処理費（中間処理）の11億6,546万3,675円の増が主な要因であります。

この事項別明細書が11ページにありますので、お目通しをお願いしたいと思います。

続きまして、不用額についてです。歳出予算現額から支出済額を差し引いた2億3,091万8,141円が不用額であります。主な要因としましては、3款衛生費の不用額1億9,411万7,444円で、これは実績に伴う不用額であります。

続きまして、決算書の15ページをお開きください。歳入決算額から歳出決算額と翌年度繰り越す財源を差し引いた1億4,993万7,071円が、平成29年度決算における実質収支額で純剰余金になります。

純剰余金の処分といたしましては、地方財政法第7条の規定により、2分の1を下らない金額を財政調整基金に積み立て、また、還元施設基金等への積み立てなど平成30年度予算の補正財源等に充てることになっております。後ほど、補正の議案が提出されますので、よろしくお願いします。

以上が、認定第1号、平成29年度那覇市・南風原町環境施設組合一般会計歳入歳出決算の概要でございます。ご審議のほどよろしくお願いします。

○議長（栗國彰）

これより質疑に入りますが、通告書に基づく質疑はございません。

これにて質疑を終結いたします。

○議長（栗國彰）

これより討論に入ります。

討論はございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（栗國彰）

討論なしと認め、これにて討論を終結いたします。

○議長（栗國彰）

これより採決を行います。

認定第1号、平成29年度那覇市・南風原町環境施設組合一般会計歳入歳出決算は、認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（栗國彰）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は認定することに決定しました。

~~~~~

○議長（栗國彰）

日程第7、議案第4号、那覇市・南風原町環境施設組合職員等の旅費に関する条例制定についてを議題といたします。

提案者の説明を求めます。

比嘉総務企画課長。

○総務企画課長（比嘉勝治）

議案第4号、那覇市・南風原町環境施設組合職員等の旅費に関する条例制定について。

議案書は7ページであります。那覇市・南風原町環境施設組合職員等の旅費に関する条例を別紙のとおり制定します。

提案理由をご説明申し上げます。議案第4号、那覇市・南風原町環境施設組合職員等の旅費に関する条例についてご説明申し上げます。

本条例は、公務のため旅行する那覇市・南風原町環境施設組合職員及び職員以外の者に対し支給する旅費について必要な事項を定めるものであります。当組合の条例については、那覇市職員等の旅費支給条例及び施行規則を参照してまいりましたけれども、条項、字句、数字、その他整理を行う必要があることが確認できました。

も、条項、字句、数字、その他整理を行う必要があることが確認できました。

今回、那覇市職員等の旅費支給条例及び施行規則の準用規定を制定することによって、所要の規定の整備を行うものであります。

議案書の8ページをお願いしたいと思えます。条例改正です。那覇市・南風原町環境施設組合職員等の旅費に関する条例の全部を改正します。第1条の趣旨については、これまで同様の趣旨でありますので、お目通しをお願いしたいと思います。第2条、旅費の支給。これが準用規定になっております。読み上げます。職員の旅費の支給については、那覇市職員等の旅費支給条例（昭和47年那覇市条例第44号）の例により支給する。この場合において、同条中「本市」及び「市」とあるのは「組合」、「市職員」とあるのは「組合職員」、「市長」とあるのは「管理者」と読み上げるものであります。第3条は、条例の施行に関し、必要な事項を規則で定めるという委任事項であります。附則において、施行期日と経過措置を記載してあります。以上です。

○議長（栗國彰）

これより質疑に入りますが、通告書に基づく質疑はございません。

これにて質疑を終結いたします。

○議長（栗國彰）

これより討論に入ります。

討論はございませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（栗國彰）

討論なしと認め、これにて討論を終結いたします。

○議長（栗國彰）

これより採決を行います。

議案第4号、那覇市・南風原町環境施設

組合職員等の旅費に関する条例制定について、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（栗國彰）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

~~~~~

○議長（栗國彰）

日程第8、議案第5号、平成30年度那覇市・南風原町環境施設組合一般会計補正予算（第1号）について議題といたします。

提案者の説明を求めます。

比嘉総務企画課長。

○総務企画課長（比嘉勝治）

ご説明申し上げます。

補正予算も別紙にあります。提案理由説明書が4ページにございますので、よろしくお願ひします。

議案第5号、平成30年度那覇市・南風原町環境施設組合一般会計補正予算（第1号）について、提案理由をご説明申し上げます。

今回の補正は、地方財政法第7条に基づく前年度決算剰余金の処分及び当初予算後の新たな状況の変化により補正の必要が生じたので、歳入歳出予算をそれぞれ2億2,490万5,000円増額補正するものであります。補正後の一般会計予算額は、歳入歳出それぞれ41億9,887万4,000円となります。

歳入についてご説明申し上げます。予算書は6ページです。第5款の繰入金は、財政調整基金繰入金の7,496万9,000円であります。

予算書7ページ、第6款の繰越金1億4,993万6,000円の増額補正で、前年度の歳

入歳出差引残額の純剰余金であります。

続きまして、歳出予算の概要説明を申し上げます。予算書は8ページになります。第2款の総務費は1億5,924万4,000円の増額補正で、負担金精算金、財政調整基金、還元施設基金への積立金の増によるものであります。

続きまして9ページ、第3款の衛生費は6,566万1,000円の増額補正で、施設整備基金への積立金の増、周辺まちづくり事業の工事費等の増によるものであります。

以上、議案第5号、平成30年度那覇市・南風原町環境施設組合一般会計補正予算（第1号）の概要でございます。ご審議をよろしくお願いいたします。

○議長(栗國彰)

これより質疑に入りますが、通告書に基づく質疑はございません。

これにて質疑を終結いたします。

○議長(栗國彰)

これより討論に入ります。

討論はございませんか。

(「なし」と言う者あり)

○議長(栗國彰)

討論なしと認め、これにて討論を終結いたします。

○議長(栗國彰)

これより採決を行います。

議案第5号、平成30年度那覇市・南風原町環境施設組合一般会計補正予算（第1号）は、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

○議長(栗國彰)

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

~~~~~  
○議長(栗國彰)

日程第9、議案第6号、環境の杜ふれあい指定管理者の指定について議題といたします。

提案者の説明を求めます。

比嘉総務企画課長。

○総務企画課長(比嘉勝治)

では、議案第6号、環境の杜ふれあい指定管理者の指定についてご説明を申し上げます。

議案書は9ページで、提案理由が5ページになりますのでよろしくお願いします。

まず、議案書9ページをごらんください。議案第6号、環境の杜ふれあい指定管理者の指定について、次のとおり指定管理者を指定する。1、管理を行わせる施設。2、指定管理者となる団体については、下記のとおりでありますので、お目通しをお願いしたいと思います。

提案理由を説明いたします。この議案は、環境の杜ふれあいの管理を行わせる指定管理者を指定するため、提出するものであります。環境の杜ふれあいは、地域還元施設として、スポーツレクリエーション活動等の普及及び振興を図り、並びに地域コミュニティ及び環境学習等の発信拠点とするために設置され、指定管理者制度は平成19年7月1日の開館当初より導入しております。指定管理者につきましては、4期目の指定管理期間が平成31年3月31日をもって終了することから、次期指定管理期間について、公募による募集をしたところ、1団体から申請がありました。

指定管理者の選定につきましては、環境の杜ふれあい運営審議会へ諮問し、平成30年9月28日に答申を受け、環境の杜ふれあ

い指定管理者共同企業体を、指定管理者の候補者として選定したものであります。なお、指定期間が平成31年4月1日から平成34年3月31日までとなっております。よろしくご審議のほどをお願いいたします。以上です。

○議長(栗國彰)

これより質疑に入りますが、通告書に基づく質疑はございません。

これにて質疑を終結いたします。

○議長(栗國彰)

これより討論に入ります。

討論はございませんか。

(「なし」と言う者あり)

○議長(栗國彰)

これにて討論を終結いたします。

○議長(栗國彰)

これより採決を行います。

議案第6号、環境の杜ふれあい指定管理者の指定については、同意することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

○議長(栗國彰)

ご異議なしと認めます。

よって、本案は同意することに決します。

~~~~~

○議長(栗國彰)

日程第10、報告第2号、専決処分の報告について(修繕工事請負金額変更)を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

玉寄施設担当課長。

○施設担当課長(玉寄博道)

それでは議案書の10ページ目をお開きください。

報告第2号となっております。その他11

ページから14ページ目までが関連の資料となっております。提案理由書の6ページ目をお開きください。

それでは説明申し上げます。

報告第2号、専決処分の報告について。報告理由をご説明申し上げます。

平成29年2月8日に、那覇市・南風原町環境施設組合議会で議決された議案第3号、平成29年度から平成32年度、焼却設備定期修繕に係る修繕工事請負契約について、設計変更に伴う修繕工事請負変更契約の専決処分をしたものであります。

設計変更の主な内容といたしましては、ボイラーの追加清掃を行ったことや、経年劣化による蒸気配管の部分交換等を行ったものであります。

変更前の金額は13億8,110万4,000円で、変更後の金額は13億9,104万円となり、993万6,000円の増額となります。なお、本件は、地方自治法第180条第1項の規定に基づき、議会の議決により、平成18年2月15日付で、那覇市・南風原町環境施設組合管理者の専決処分事項として指定された、契約金額の100分の5以内で、1,000万円以下の契約額の変更の事項として、平成30年10月5日に、当該事項の専決処分を行い、同日付で、修繕工事請負変更契約を締結しましたので、同条第2項の規定により、ご報告いたします。以上でございます。

○議長(栗國彰)

これより質疑に入りますが、通告書に基づく質疑はございません。

これにて質疑を終結いたします。

~~~~~

○議長(栗國彰)

日程第11、報告第3号、専決処分の報告

について（沖縄県市町村総合事務組合規約の一部を変更する規約について）を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

比嘉総務企画課長。

○総務企画課長（比嘉勝治）

では報告いたします。

報告第3号、専決処分（沖縄県市町村総合事務組合規約の一部を変更する規約）の報告についてであります。地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定により、議会において指定されている下記の事項について、別紙のとおり専決処分したので、同条第2項の規定により報告いたします。

本件は、沖縄県市町村総合事務組合に加入する糸満市・豊見城市清掃施設組合、東部清掃施設組合の脱退及び島尻消防清掃組合が島尻消防組合へ名称変更したことにより、平成30年4月1日を機に、沖縄県市町村総合事務組合規約について、変更する必要が生じました。そのために、地方自治法第180条第1項の規定に基づき、平成30年2月28日付で、那覇市・南風原町環境施設組合管理者の専決事項に指定された、沖縄県市町村総合事務組合加入市町村等の変更に伴う同組合の規約変更の事項について、専決処分を行いましたので、同条第2項の規定により報告いたします。以上です。

○議長（栗國彰）

これより質疑に入りますが、通告書に基づく質疑はございません。

これにて質疑を終結いたします。

~~~~~

○議長（栗國彰）

日程第12、これより一般質問を行います。

この際、申し上げます。

本日の一般質問に関する発言の割り当て時間は、答弁を含めて各議員30分以内といたします。

発言通告書が提出されておりますので、通告書に従って順次発言を許可します。

喜舎場盛三議員。

○3番（喜舎場盛三）

おはようございます。

それでは質問させていただきます。平成28年4月1日から、平成30年3月31日までの5年間の期間で、循環型社会形成推進計画が策定されておりますけれども、循環型社会形成推進地域計画について、以下伺います。

（1）家庭系ごみの総排出量の現状と平成33年度の目標値とその差。

（2）事業系ごみの総排出量の現状と平成33年度の目標値とその差。

（3）再生利用量の総排出量の現状と平成33年度の目標値とその差をお伺いいたします。

○議長（栗國彰）

玉寄施設担当課長。

○施設担当課長（玉寄博道）

一般質問の1番目の（1）から（3）につきましては、関連いたしますので一括でお答えします。

循環型社会形成推進地域計画は、クリーンセンターの基幹的設備改造工事の実施に伴い、循環型社会形成推進交付金要綱に基づき作成する必要があることから、那覇市、南風原町並びに本組合で、平成27年度に作成したものであります。

家庭系ごみの総排出量は、平成28年度の目標値6万8,530トンに対し、実績値は7万257トンであり、1,727トンの増となります。事業系ごみの総排出量は、平成28年度



の目標値4万75トンに対し、実績値は4万2,665トンであり、2,590トンの増となります。また、再生利用量の総排出量は、平成28年度の目標値1万9,640トンに対し、実績値は1万6,801トンであり、2,839トンの減となります。平成33年度の目標値につきましては、家庭系ごみの総排出量は6万5,185トン、事業系ごみの総排出は3万9,598トン、また再生利用量の総排出は2万3,165トンとなっております。

○議長(栗國彰)

喜舎場盛三議員。

○3番(喜舎場盛三)

ありがとうございました。

それぞれ、ごみの総排出量の削減と、それから再生利用量の増、それぞれ、各市町村、那覇市、南風原町がそれぞれ計画して進めていると聞いておりますけれども、例えば、マイバッグ運動の普及とか、過剰包装の抑制、あと環境教育、さまざま、ごみ発生の抑制とか再利用推進ための施策を推進しているようですけれども、この地域計画における本組合の役割と進捗状況をお伺いいたします。

○議長(栗國彰)

大田クリーンセンター主幹。

○クリーンセンター主幹(大田裕二)

再質問にお答えいたします。

循環型社会形成推進地域計画における本組合の役割につきましては、基幹的設備改造工事を行い、クリーンセンターの能力の回復及び延命等を行うことであります。

基幹的設備改造工事の進捗状況としましては、総事業費50億8,049万2,000円に対し、平成29年度末において24億7,648万4,000円となっており、進捗率48.7%となっております。

○議長(栗國彰)

喜舎場盛三議員。

○3番(喜舎場盛三)

ありがとうございました。

それでは次に、クリーンセンターの施設の長寿命化計画を伺います。

○議長(栗國彰)

玉寄施設担当課長。

○施設担当課長(玉寄博道)

一般質問の2番目にお答えします。

廃棄物処理施設の長寿命化計画は、施設の性能を維持しつつ、施設の延命化を図ることを目的とし、プラント設備の適切で効率的な維持管理を行うため、施設保全計画や、将来において有効な基幹改造を行うための延命化計画などを策定するものであります。

本組合では、平成27年度に長寿命化整備計画を策定しており、段階的に3度の基幹改造工事を実施し、供用開始から50年間稼働することを目指しております。

○議長(栗國彰)

喜舎場盛三議員。

○3番(喜舎場盛三)

ありがとうございました。

建設から既に、確か13年が経過していると思いますけれども、もし長寿命化対策をしなかった場合に、当初の設備の耐用年数というのはどの程度になりますか。お伺いいたします。

○議長(栗國彰)

大田クリーンセンター主幹。

○クリーンセンター主幹(大田裕二)

再質問にお答えいたします。

一般的に、焼却施設の耐用年数は、基幹的設備改造工事等の延命化を行わない場合では、20年程度とされております。

○議長(栗國彰)

喜舎場盛三議員。

○3番(喜舎場盛三)

長寿命化計画によって、ごみ処理施設の耐用年数、稼働期間を約50年に延ばすということですが、その50年の間に、先ほどもありましたクリーンセンター基幹的設備改造工事、これを3回ぐらい実施するということですね。現在、改造工事が平成33年3月31日までの5年間で、約50億円の費用がかかるということです。次、2回目、3回目、それぞれかなりの費用がかかると思いますが、その費用がどんどん拡大していくと思いますが、これもぎりぎり、要するにこれ以上、費用をこのようにかけても、新設したほうがいいという限界点が必ず出てくると思うのですが、その場合に、新設する必要が出てきますけれども、その新設の計画はどうなっているのか、お伺いいたします。

○議長(栗國彰)

大田クリーンセンター主幹。

○クリーンセンター主幹(大田裕二)

再質問にお答えいたします。

本組合では、3度の基幹的設備改造工事を実施し、施設の延命化を図るとともに、日々の適切な維持管理を行い、供用開始から50年より前に、施設の限界が来ることをないように取り組んでまいります。

○議長(栗國彰)

喜舎場盛三議員。

○3番(喜舎場盛三)

50年と言っていますけれども、必ず50年もたないかもしれないですよ。エコアイランドもやがて寿命が来ますよね。これはかなり予定日を延ばしていますけれども、この辺の計画はまだされていない、完全に埋め立てて、バックヤードとして使用するらしいのですが、その後の計画、エコアイランドにかわるものの計画はまだされてい

ないと聞いていますが、これも確かに50年、まだ先ではあるのですが、もう既に13年経っている。寿命が50年先かもしれない。その場合に備えて、何らかの計画の策定が必要ではないですか。

○議長(栗國彰)

玉寄施設担当課長。

○施設担当課長(玉寄博道)

先ほどもご説明しましたとおり、今、長寿命化計画では50年もたせるということで取り組んでおりますので、50年より前に限界が来たらどうなるかということにつきましては、我々としては、今のところそういう計画は策定しておりません。それで、我々としては、50年もたせようということで、今後とも取り組んでまいりたいと考えております。

○議長(栗國彰)

喜舎場盛三議員。

○3番(喜舎場盛三)

確かに、50年もたせるように頑張っている。ただきたいとは思いますが、あつという間に来ますので、そのためにも、やはり今から準備して、次はどこにつくるのか、新設をどうするのかもきちんと計画を立てていってほしいと思います。

次に移ります。災害時に、大量に災害廃棄物が発生いたしますが、その処理計画について伺います。

○議長(栗國彰)

仲間事務局次長。

○事務局次長(仲間好彦)

一般質問の3番目にお答えいたします。

地震や津波等の自然災害により生じる災害廃棄物は、市町村が処理主体とされております。本組合の構成市町であります那覇市並びに南風原町において、災害後の復旧、復興の妨げにならないよう、処理計画の策

定が求められております。両市町とも、災害廃棄物処理計画の策定につきましては、早急に計画を策定する必要があるものと認識しており、廃棄物処理に係る市内体制の確立と、町外の関係団体の連携体制構築、災害瓦れきや被災した市民、町民の片づけ、ごみの仮置き場の候補地を地域ごとに選定しておくことなど、検討できることを一つ一つ進め、できるだけ早い時期に処理計画を策定できるよう取り組んでまいりたいとのことでありました。

○議長(栗國彰)

喜舎場盛三議員。

○3番(喜舎場盛三)

どうもありがとうございました。

それぞれの市町村で、災害廃棄物処理計画策定はするのですが、大地震が起こった場合は、全県的な問題ですが、各市町村で、例えば水害があった場合、それぞれ限定的な災害が発生した場合に、災害廃棄物処理の、県内それぞれの環境施設組合の協力体制はどうなっているのか、お伺いいたします。

○議長(栗國彰)

本永クリーンセンター主幹。

○クリーンセンター主幹(本永春樹)

再質問にお答えいたします。

自然災害により発生した廃棄物は、各市町村が処理の責任を負いますが、災害の程度によっては、各市町村の処理能力を超える量の廃棄物が発生するおそれがあります。現在、本組合は他7自治体と一般廃棄物処理業務の相互協力に関する協定、いわゆる相互協定を締結しております。これは、焼却施設の整備や故障及び自然災害などの事由により、各自治体内でのごみ処理が困難になった場合に、相互協定加盟の各自治体が自己の施設の余力の範囲内で、他自治体

からの廃棄物を受け入れるよう相互に努めるものであります。

したがいまして、各自治体での限定的な災害により発生した廃棄物については、この相互協定で連携し、対処することとなっております。

○議長(栗國彰)

喜舎場盛三議員。

○3番(喜舎場盛三)

以上で質問を終わります。ありがとうございました。

○議長(栗國彰)

岡崎晋議員。

○7番(岡崎晋)

岡崎晋でございます。八重山、石垣市で生まれ育ち、そこで高校を卒業して、那覇市を経て、35年前に隣の新川に移り住んでまいりました。よろしくお願いいたします。

1年生ですので、基本的なことを伺いたいと思います。

1. クリーンセンター供用開始以来の基幹的設備改造工事の年度ごとの施工実績と費用実績を伺います。

2. 今後5年もしくは10年間の基幹的設備改造工事の予定を伺います。

3. 環境の杜供用開始以来の指定管理者に対する委託料推移について伺います。

4. これはわかりやすく通称で書いたのですが、町道10号線から「東新川公民館」への車椅子による緊急避難のための通路確保について伺います。

5. 安里川起点から上両岸の整備と活用について伺います。

(1) 那覇市側に設置された遊歩道が荒れたままで活用されていません。安里川上流を有効活用してもらうために、組合从那覇市へ、整備を促していただきたい。

(2) 元友寄氏宅と大橋に接する町道10

号線にガジュマルやトックリキワタの枝がせり出して、車両通行の妨げになっています。環境の杜利用者の安全を確保するために、南風原町に伐採を促していただきたい。

以上、ご答弁をお願いします。

○議長(栗國彰)

玉寄施設担当課長。

○施設担当課長(玉寄博道)

一般質問の1番目にお答えします。

基幹的設備改造工事は、循環型社会形成推進交付金を活用して、平成28年度から平成32年度までの5年間で予定しており、総事業費は50億8,049万2,000円でございます。各年度の施工実績といたしましては、平成28年度は主に機器の工場製作及びごみクレーン自動運転装置システムの更新を行っております。また、平成29年度は主にボイラーの加熱器管や、すす払い装置及び触媒脱硝装置の更新を行っております。各年度の費用実績といたしましては、平成28年度は7億688万2,000円、平成29年度は17億6,960万2,000円となっております。

次に一般質問の2番目にお答えします。今後の基幹的設備改造工事につきましては、平成27年度に作成した長寿命化整備計画では、2回目の基幹的設備改造工事を、供用開始から25年目の平成42年度から5年間、また3回目の基幹的設備改造工事を、供用開始から39年目の平成56年度から2年間で行う予定となっております。

○議長(栗國彰)

比嘉総務企画課長。

○総務企画課長(比嘉勝治)

一般質問の3番目にお答えいたします。

環境の杜の指定管理者に対する委託料の推移につきまして、第1期は平成19年度から平成21年度で7,215万円です。第2期は平成22年度から平成24年度で6,970万8,000

円です。第3期は平成25年度から平成27年度で8,437万6,000円。第4期は平成28年度から平成34年度で6,990万円となっております。以上です。

○議長(栗國彰)

仲間事務局次長。

○事務局次長(仲間好彦)

一般質問の4番目にお答えいたします。

当該現場を確認いたしましたところ、ポールや車道境界ブロックが設置されております。設置目的といたしましては、町道10号線と本組合施設内道路との交差点部分の、東新川公民館駐車場からの直接の出入りが交通安全上危険なため、駐車場からの出入りを制限したものであります。しかしながら、議員ご指摘のとおり、車椅子については通行に支障となっている状況であることから、本組合といたしましては、交差点の安全に配慮しつつ、速やかに現在設置されている車道境界ブロックの一部を撤去することにより、車椅子の通行の確保を行ってまいりたいと考えております。

次に一般質問5番目の(1)についてお答えいたします。遊歩道について、那覇市に確認いたしましたところ、平成23年5月に開発行為に伴う緑地として整備完了し、那覇市が移管を受けた城南タウンの緑地の園路とのことで、当該緑地は自然環境保全に重点を置き、現在の緑豊かな状態にできるだけ影響を与えないため、基本的に管理以外の出入りを禁止しているとのことであります。ただし、学術調査等で利用する際の許可については、検討していきたいとのことであります。本組合といたしましては、地域の皆様方から遊歩道を活用したいとの要望があることを、那覇市へ伝えてまいりたいと考えております。

次に一般質問の5番目の(2)について

お答えいたします。町道10号線については、道路管理者は南風原町になっており、南風原町へ確認いたしましたところ、一般的に道路隣接地の伐採については、基本的に所有者が行うべきとしており、相手方へ文書にて伐採を依頼しているとのことでした。本組合といたしましては、利用者の皆様方からの通行の安全のため、伐採の要望があることを南風原町へ伝えてまいりたいと考えております。

○議長(栗國彰)

岡崎晋議員。

○7番(岡崎晋)

1番目と2番目に関連してお伺いします。

伺ったのは基幹的設備の改造のことでしたけれども、建物等についてはいかがでしょうか。

○議長(栗國彰)

大田クリーンセンター主幹。

○クリーンセンター主幹(大田裕二)

再質問にお答えいたします。

今回の基幹的設備改造工事の終了後に、発電設備や監視制御システム機器及び非常用発電設備の更新、並びに建築附帯設備機器などの更新などがあり、それぞれの更新時期に合わせて効率的で、合理的な方法を検討してまいりたいと思っております。

○議長(栗國彰)

岡崎晋議員。

○7番(岡崎晋)

ありがとうございます。

4番目に移ります。避難通路を確保していくということですのでよろしくお願いします。

5番目の(1)については、私も、みんなの森の藤井先生の講座を、以前に受講したことがございますけれども、自然の保全と放置とはちょっと違うと思います。

今の状態は放置に近い状態になっているのではないかという思いがいたします。安里川の上流は、確か生き物観察などでも活用していこうということは、かなり前から言われていたことだし、今先ほどのご答弁だと、出入り禁止ということもあったような気がしますけれども、せっかくの川、那覇市では少ない自然の川なので、ぜひ今後予定されている公園とあわせて、対岸の岸辺も散策等に活用していただけたらという思いがいたします。

(2)の木の枝は、今のお答えだと所有者が伐採すべきだというお答えだったと思うのですが、所有者と連絡はとれているのでしょうか。

○議長(栗國彰)

仲間事務局次長。

○事務局次長(仲間好彦)

所有者については、きちんと確認しておりますので、そのあたりについても南風原町に連絡するような状態ですので、連絡してまいりたいと考えております。

○議長(栗國彰)

岡崎晋議員。

○7番(岡崎晋)

私、ここへ来るときもたまたまその道路を通ってまいりました。多くの方がごらんになっていると思いますけれども、これぐらいの、もっと低い枝もあります、道路の上に。普通車には全然問題ないかもしれませんが、それより高い車はずっとぶつかっていると思います。マイクロバスなど大丈夫でしょうか。ですから、余り長く放置できない状態だと思います。赤嶺町長もいらっしゃるし、南風原から来られている職員の皆さんもいらっしゃるので、ぜひ早目に枝が伐採されるようお願いしたいと思います。以上で私の質問を終わります。

す。

○議長(栗國彰)

赤嶺奈津江議員。

○9番(赤嶺奈津江)

南風原町議会議員、赤嶺奈津江でございます。

それでは一般質問をさせていただきますけれども、先日、公害対策連絡協議会が行われまして、私も南風原町新川におりますので、公対協に参加させていただきました。その中において、クリーン推進課から、議題としてではなくて、その他の報告として、し尿処理場の受入槽の清掃で生じた残渣についての提案といえますか、報告がありまして驚いたので、こちら組合でどのように考えているかということで質問させていただきます。

1. 那覇市において、し尿処理場の受入槽清掃で生じたし尿残渣を当クリーンセンターでの処理を検討しているとの説明が、公害対策協議会でありました。当クリーンセンターでの処理は、当初の計画になく、衛生面や悪臭の心配から到底受け入れはできないと思うが、環境施設組合としてどう考えるか、お答えをお願いいたします。

○議長(栗國彰)

仲間事務局次長。

○事務局次長(仲間好彦)

一般質問の1番目にお答えいたします。

那覇市に確認いたしましたところ、8月に行われた那覇市・南風原町公害対策連絡協議会で、し尿処理場の清掃で生じた残渣の、本クリーンセンターでの処理について情報提供として報告したとのことでありました。その後、本組合では那覇市からし尿残渣の受け入れについて打診を受け、協議を行っていましたが、本クリーンセンターの焼却設備は、し尿残渣を処理するこ

とを想定した設計にはなっていないこと。仮にし尿残渣を受け入れた場合は、本クリーンセンターの設備や作業員の衛生面、さらには本クリーンセンターからの悪臭による周辺地域の影響が懸念されるとして議論を行ってまいりました。その結果、那覇市では、本クリーンセンターへのし尿残渣の持ち込みを行わないとしたとのことであります。

○議長(栗國彰)

赤嶺奈津江議員。

○9番(赤嶺奈津江)

ありがとうございました。

このし尿処理場の受入槽清掃で生じた残渣というのは、脱水したものではなくて、清掃時に水洗いでそぎ落としたもので、脱水されたものではないものを一般廃棄物として当組合で処理してもらいたいという打診だったと、打診といいますか検討してもらいたいということで来たと聞いております。実際これまで、南風原町においては平成2年には宮城のほうから南風原町のほうに、最終処分場の整備についての反対ということで、新川のほうでも反対運動がかなりありました。平成11年には、ごみ処理施設の事務組合を設立するにあたり、議会においてもかなり厳しい決議書を出しております。平成13年にも、申し合わせといえますか、かなり厳しい文言で、前副管理者であります、城間俊安前町長から処理方法の見直しということで、那覇市に出しまして、前管理者であります那覇市の翁長市長のときに、これまでの協定について、遵守されていなかったと。協定と覚書について遵守されていないことが多く、謝罪ということで翁長市長から南風原町にも出されております。この流れの中で、地域を軽視しているのではないかという思いから今回の質問

であります。

今回、公対協で話をした際に、2番目ですが、議会（那覇市議会、南風原町議会、環境施設組合議会）への説明や提案の予定もないと、公対協での説明がありましたので、建設当時の地域住民との関係から考えても、地域への説明もなく、地域軽視とも言えると思いますので、この件については、組合としてどう考えているか、お伺いしたいと思います。

○議長（栗國彰）

仲間事務局次長。

○事務局次長（仲間好彦）

一般質問の2番目にお答えいたします。

本組合では、建設当初から両市町間や地域住民の皆様方と事務調整や住民説明会などを十分に行って、合意形成を図りながら事業を進めてまいりました。那覇市に確認いたしましたところ、今回のし尿残渣の処理については、地域の皆様方に方針が決定したかのような、不十分な説明によって不安と誤解を与えてしまったことについて、大変申しわけなく思っているとのことでありました。今後、今回のような新たな案件があった場合には、本組合との調整や両市町議会や南風原町、そして周辺地域の皆様方への説明など、十分な配慮を行ってまいりたいとのことでありました。

○議長（栗國彰）

赤嶺奈津江議員。

○9番（赤嶺奈津江）

ありがとうございます。

実際、これまで数十年かけて良好な関係を築いてきた当組合、また両母体の関係が悪化しかねない課題だと思いますので、これからはきちんと報告、また提案する前にも説明なりやるようお願いして、質問を終わりたいと思います。ありがとうございます。

ました。

○議長（栗國彰）

これをもちまして、本定例会における一般質問を終了いたします。

~~~~~

○議長（栗國彰）

次に、議決事件の条項、字句及び数字等の整理について、お諮りいたします。

本定例会において議決されました議案については、会議規則第37条の規定により、その条項・字句・数字・その他の整理を要するものについては、これを議長に委任されたいと思います。

これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（栗國彰）

ご異議なしと認めます。

よって、条項・字句・数字・その他の整理は議長に委任することに決定いたしました。

○議長（栗國彰）

以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

これにて、平成30年（2018年）10月那覇市・南風原町環境施設組合議会定例会を閉会いたします。

イPPERニフエーデービタン。タンディガータンディ。

（午前11時07分 閉会）

上記のとおり議事録を整理し、署名する。

|      |           |
|------|-----------|
| 議 長  | 栗 國 彰     |
| 署名議員 | 木 如 古 一 印 |
| 署名議員 | 岡 崎 貴     |